

令和7年度

 愛知県西尾市

学校安全総合支援事業 活動報告

守ろう、  
支えよう、  
大好きな故郷

ふるさと



ほうさいくん

西尾市 危機管理局 危機管理課  
Crisis Management Section

# 西尾市の概要

名古屋市の南東約35キロメートル

人口：169,108人  
(R7.12.1現在)



※平成23年4月1日に一色町・吉良町・幡豆町と合併しました。

まーちゃ

# 南海トラフ地震で想定される

## 西尾市の被害

最大震度 : 震度7



最大津波高 : 4.4m 【佐久島 : 5.1m】

津波到達時間 : 53分 【佐久島 : 41分】

(津波高30cm)

浸水面積 : 5,155ha (市域の約3分の1)

(浸水深1cm以上,海岸堤防の高さが75%沈下した場合)

# 過去地震最大モデル被害想定 (他市との比較)

	最大震度	最大津波高(m)	津波到達時間(分)	浸水面積(㎡)	死者数(人)	全壊建物数(棟)
西尾市	7	4.4 佐久島5.1	53 佐久島41	5,155 ②	1,800 ①	15,000 ②
名古屋市	6強	3.3	103	5,740	1,500	20,000
豊橋市	6強	7.6	9	2,115	400	9,000
田原市	7	10.2	12	1,931	300	5,200
知多市	6強	3.1	76	47	30	700
碧南市	7	3.5	57	1,071	300	5,200
蒲郡市	7	3.6	59	131	90	1,500

# 南海トラフ地震で想定される西尾市の被害

揺れやすさ(震度)

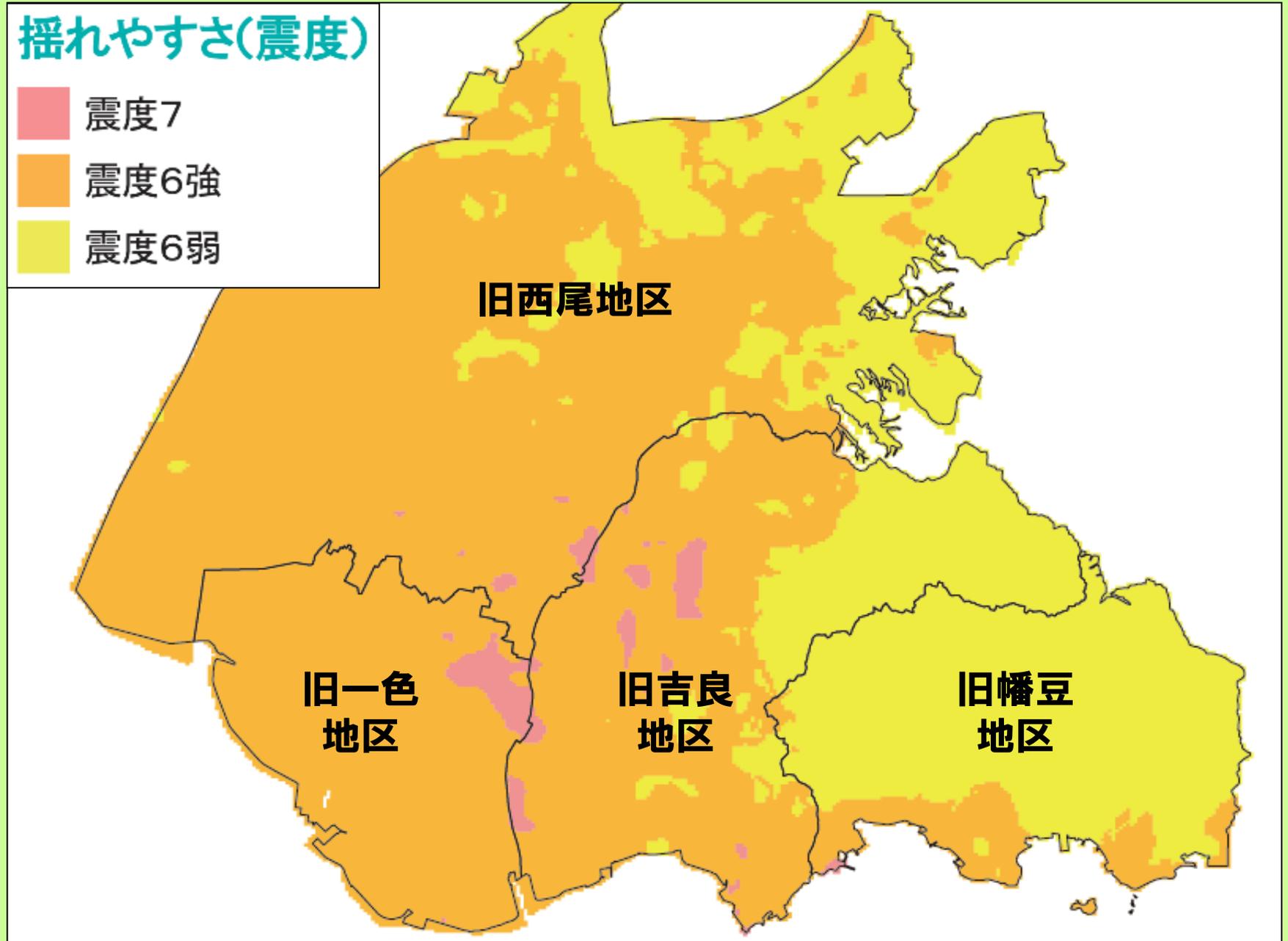


旧西尾地区

旧一色  
地区

旧吉良  
地区

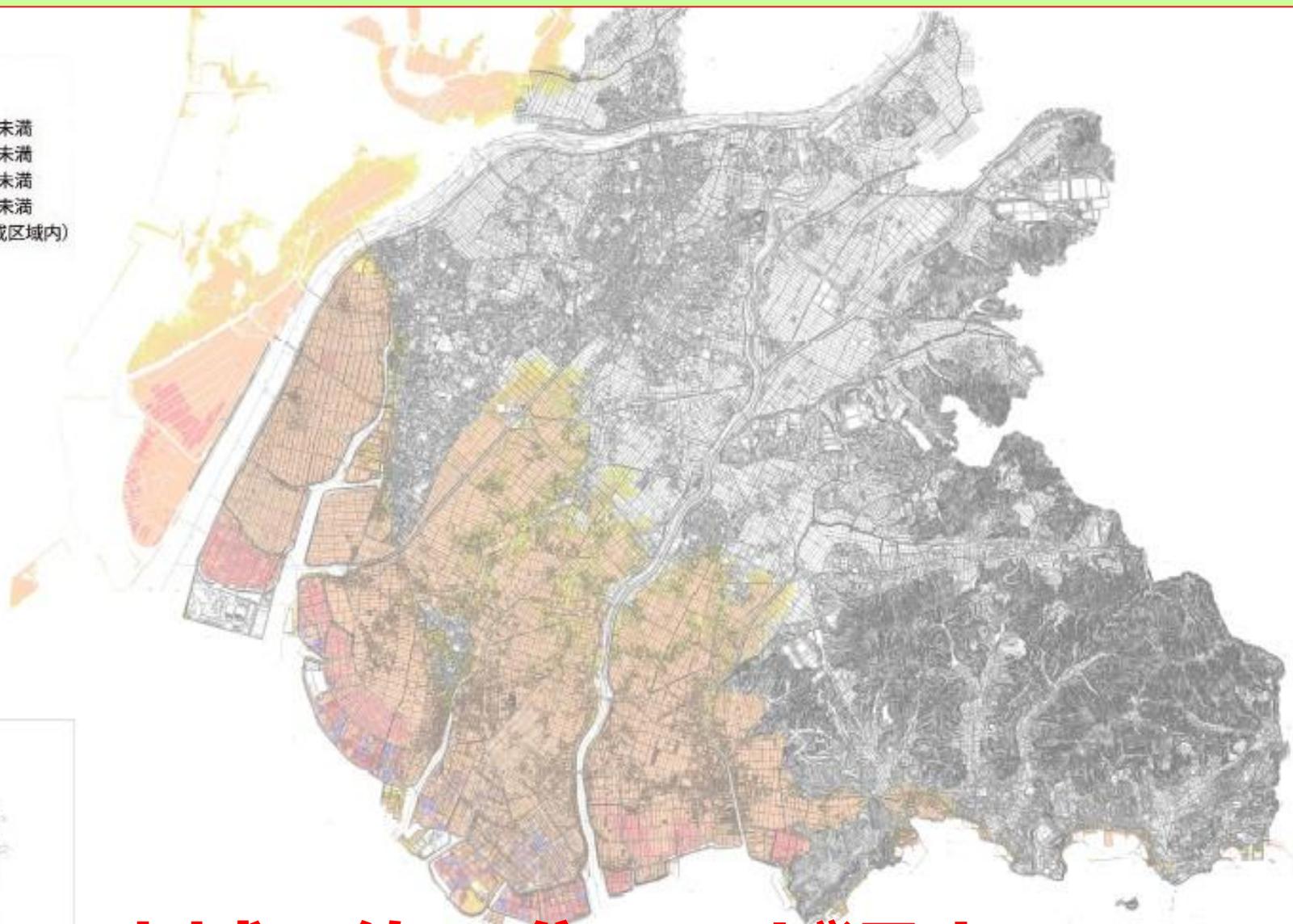
旧幡豆  
地区



# 津波浸水想定区域西尾市全体図

## 基準水位

- 5.0m 以上
- 3.0 ~ 5.0m 未満
- 1.0 ~ 3.0m 未満
- 0.5 ~ 1.0m 未満
- 0.1 ~ 0.5m 未満
- 池沼等 (警戒区域内)



市域の約 3 分の 1 が浸水

# 事業の目標

- ①児童生徒が、地震津波や風水害等に対する正しい知識を身につけるとともに、災害発生時には、  
防災リーダーとして  
積極的に活動できること  
を目指す。

# 事業の目標

②児童生徒が、取り組んだ成果等を外部に発信していくことで

学校間・地域間の

防災に対する意識の差

の解消

を目指す。

# 事業の目標

③中核教員（防災担当教員）を通して、拠点校を中心としたモデル地域内での取組を共有するとともに、

中核教員の資質能力の向上

を目指す。

# モデル地域の設定

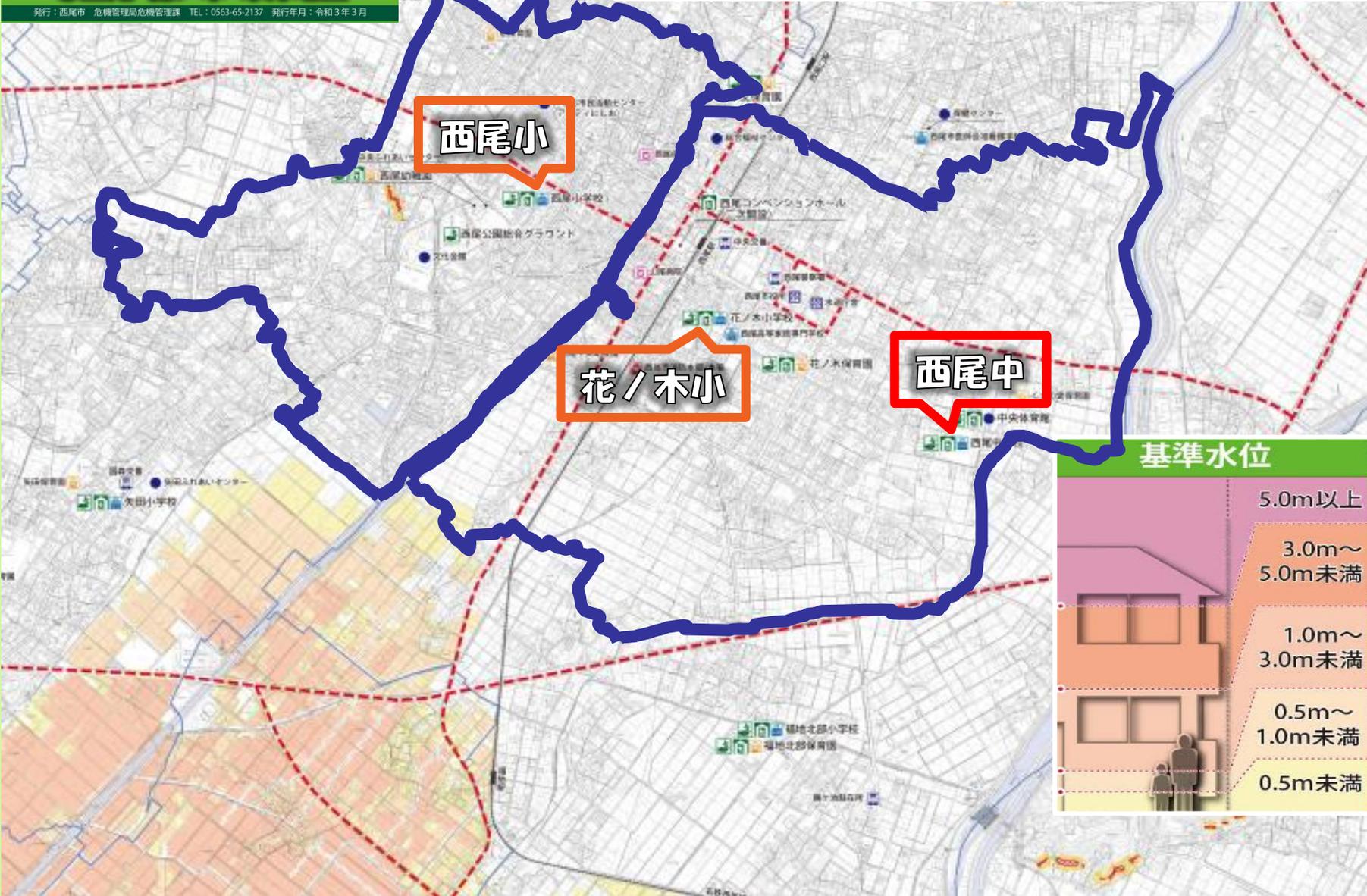
## 基準水位



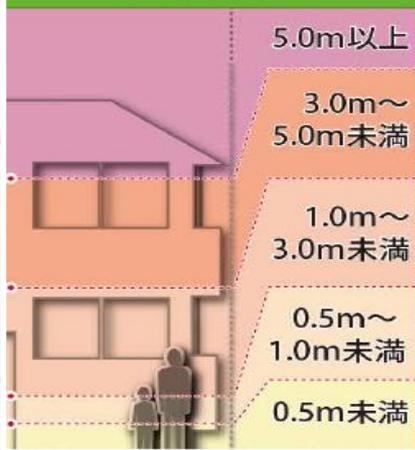
佐久島

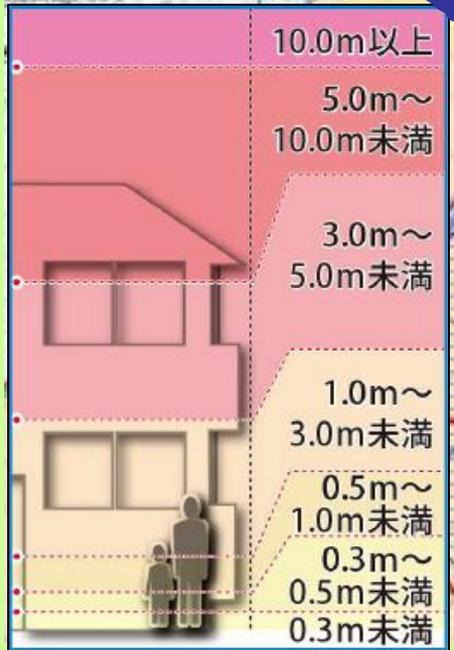
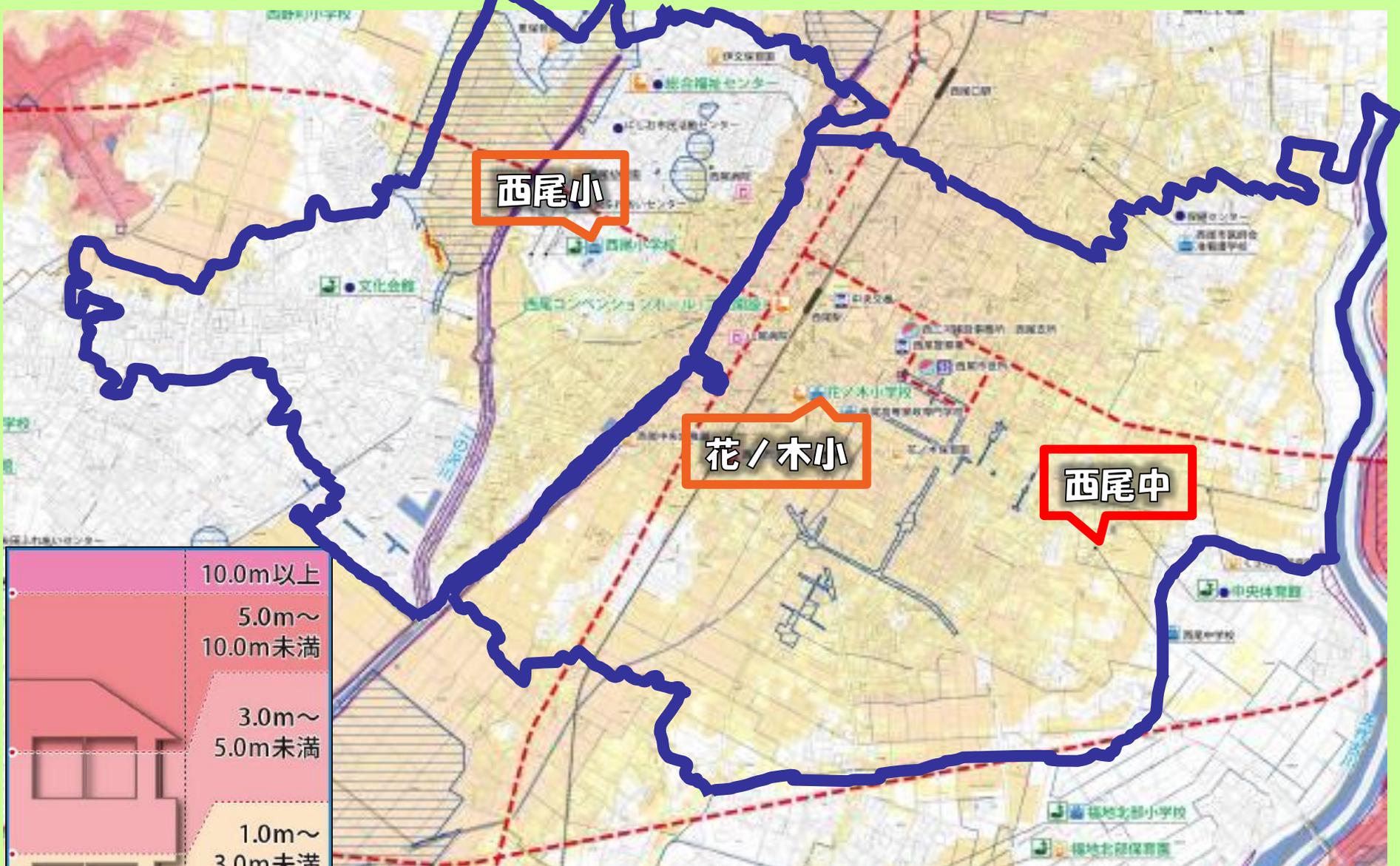


# モデル地域の被害想定



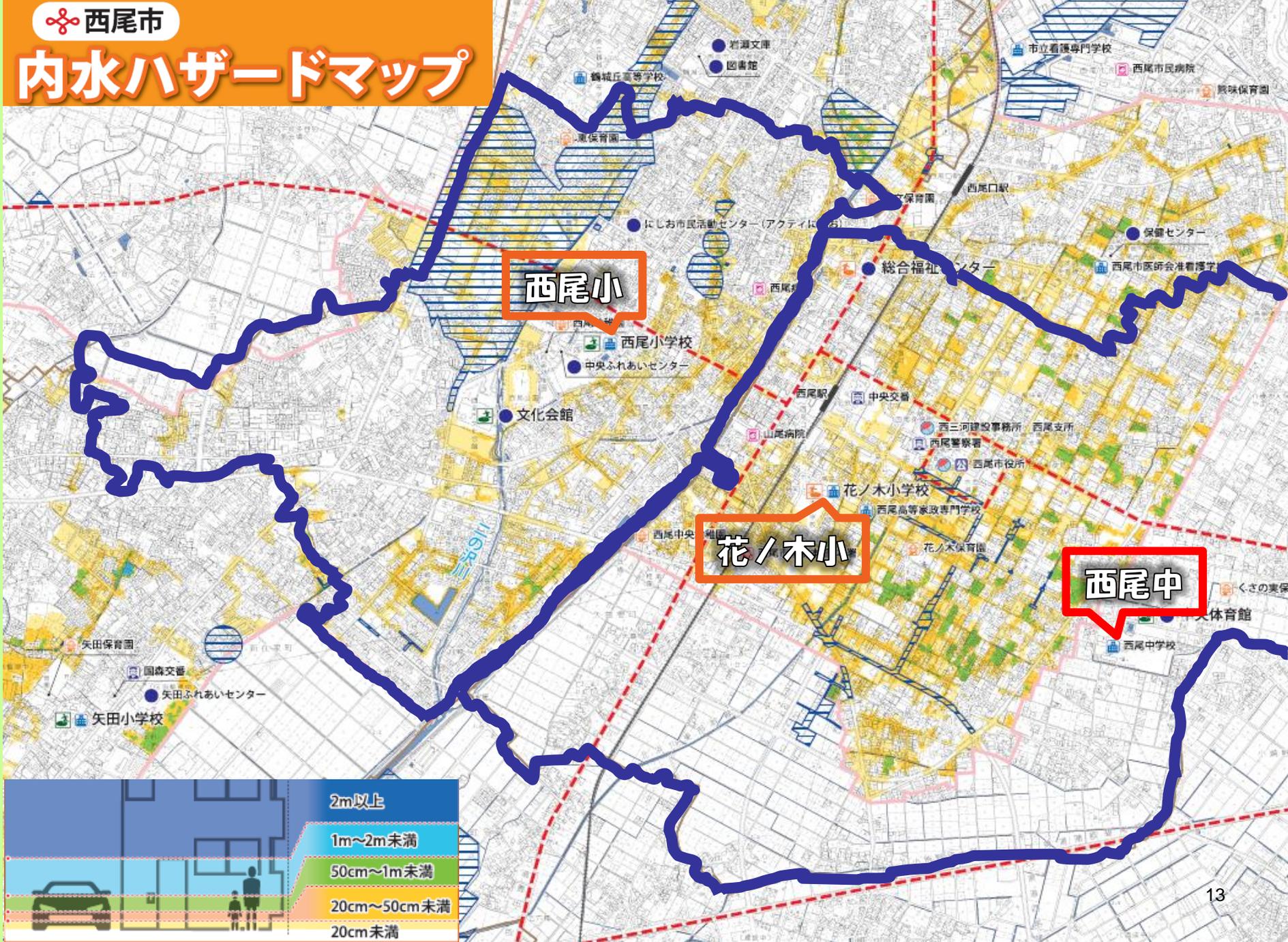
基準水位



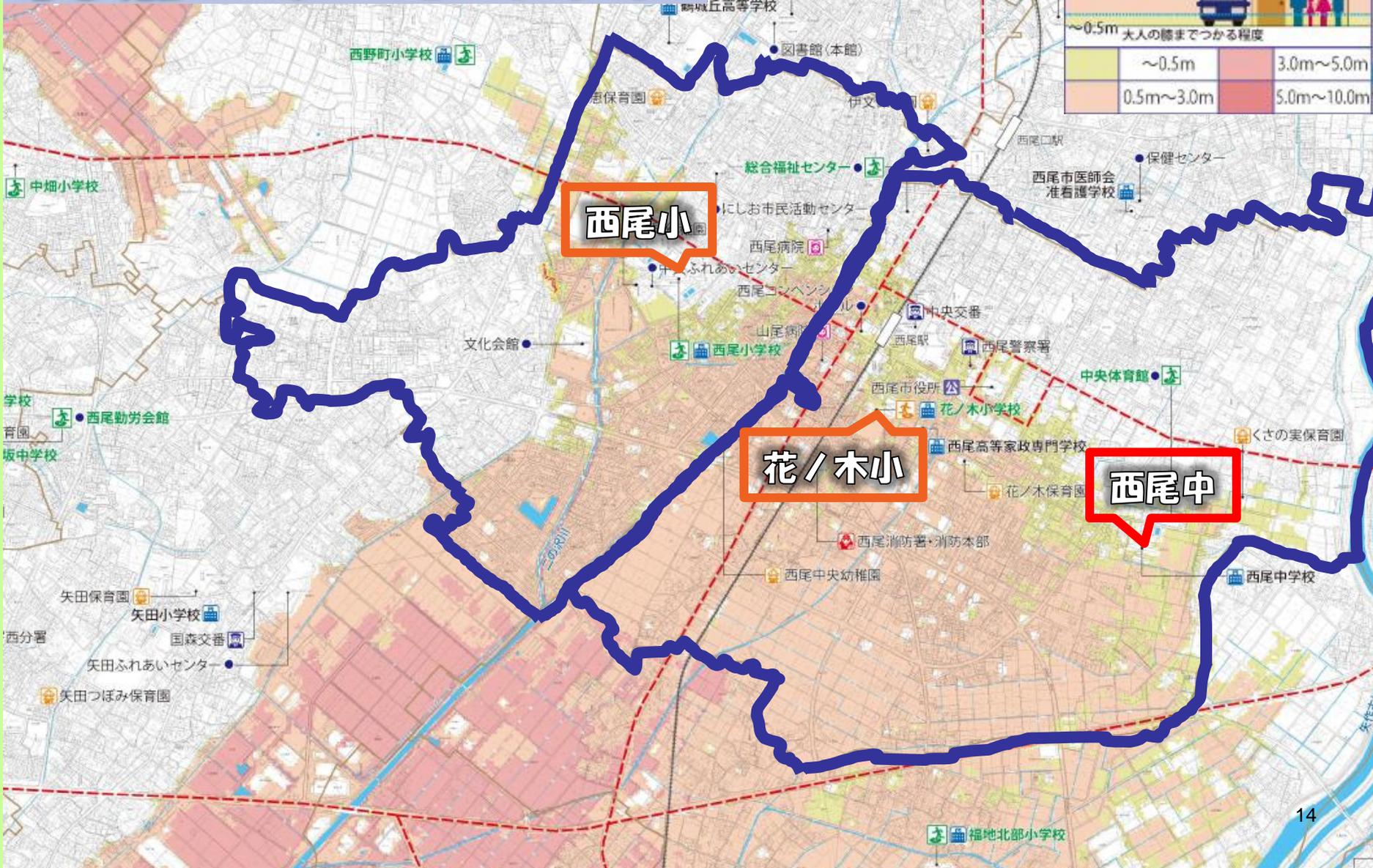



**西尾市**  
**洪水ハザードマップ**

# 内水ハザードマップ



# 高潮ハザードマップ



# モデル地域の設定

**風水害**（内水氾濫、外水氾濫）において大きな被害、  
地震津波における**指定避難所**になっている学校を含む  
西尾地区

自分の命は自分で守る

守られる側から守る側へ

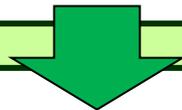
# モデル地域の設定

**風水害**（内水氾濫、外水氾濫）において大きな被害、  
地震津波における指定避難所になっている学校を含む

**西尾地区**

防災リーダー育成の視点から

拠点校 **西尾市立西尾中学校**



**中核教員（防災担当教員）**を通して  
西尾地区全域へ取組を広める

# 拠点校

## 西尾市立 西尾中学校

より正しくより美しくより強く

1年生 7クラス (256名)

2年生 6クラス (227名)

3年生 7クラス (268名)

合計 751名

# モデル地域校

一生懸命は カッコいい!

西尾市立  
西尾小学校

6年生4クラス 117名

飛べ、花ノ木っ子!

西尾市立  
花ノ木小学校

4年生3クラス 109名

# 実践委員会の設置



名古屋市港防災センター

近藤ひろ子 防災教育アドバイザー

自主防災会連絡協議会会長、  
警察、消防、中核教員等から  
なる実践委員会（年3回）



# 危機管理課職員による防災講話

西尾市や校区の

- ・ 地理的状況
- ・ 被害想定
- ・ 災害に対する備え 等

5月13日 西尾小6年生

16日 西尾中1年生

28日 花ノ木小4年生

## ≪児童生徒の感想≫

- ・ 自分が生きている間に  
巨大地震が来るかも  
しれないと思うと  
**怖くなった**

- ・ **家具の配置**を変えたり  
**固定**したりしたい

- ・ **自助、共助、公助**が  
とても大切だと分かった

# 危機管理課職員による防災講話

## ◀児童生徒の感想▶

- ・ **家族**と防災グッズの確認や避難場所の**話し合い**をしておきたい
- ・ 自分だけでなく、**他の人の命**を守り、**みんなのために**できることをしたい
- ・ 周りの人の**防災意識**を高める**きっかけ**をつくりたい

自分事として  
防災学習を  
進めていこう

## 【モデル地域での取組②】

# 近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

- ★過去の大地震の紙芝居
- ★防災における大切な言葉
- ★「いつも」「おかに」ソング 等

6月10日 花ノ木小4年生 **保護者**

18日 西尾中1年生・実践委員

10月25日 西尾小6年生・5年生 **保護者**

# 近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

## ≪児童生徒の感想≫

・ **命を守る、みんなと一緒に  
生きのびていく**ことが大切

・ 災害は他人事ではなく、  
常に**自分事**としてとらえて、  
備えておくことが大切

・ 「**地域の大きな力**」となれる  
ように、自分で判断して  
行動できるようにしたい

・ **中学生でもできそう**だなと  
思うことがたくさんあった

・ **家族**で防災について  
話し合いたい

・ たくさんの人に  
**防災を伝えたい**

・ **地域の人**と積極的に  
関わっていききたい

防災リーダーへの  
意識が芽生えた

【モデル地域での取組③】

# 防災講座「救出救護技術」

西尾市消防本部  
校区消防団

## 「避難所簡易グッズ作り」

- ◇ 負傷者の応急手当て
- ◇ 負傷者の搬送
- ◇ 巻き結び・本結び
- ◇ 初期消火訓練
- ◇ 火災現場からの避難訓練
- ◆ 避難所設営訓練
- ◆ 新聞紙スリッパ作り

5月29日

西尾中1年生

実践委員

# 防災講座「救出救護技術」

西尾市消防本部  
校区消防団

## 「避難所簡易グッズ作り」

### ≪生徒の感想≫

- ・ **身近にあるもの**で災害時に役立つものがいろいろある
- ・ 知るだけでなく**行動すること**の大切さを実感
- ・ 「助けてもらう」側ではなく**「助けてあげられる」側**になれるように、防災の知識を身につけたい

自分たちもできる！

- ・ いざというときに**地域の人たちの力**になれる

- ・ **身近な人たちにも**教えて、みんなの防災意識を高めたい

もっと広めたい！

# 避難所運営ゲーム（HUG）

西三河  
県民事務所職員

## 避難所運営をカードで模擬体験

- ・ 避難者カードの配置
- ・ それぞれの状況を考慮
- ・ 様々な出来事への対応

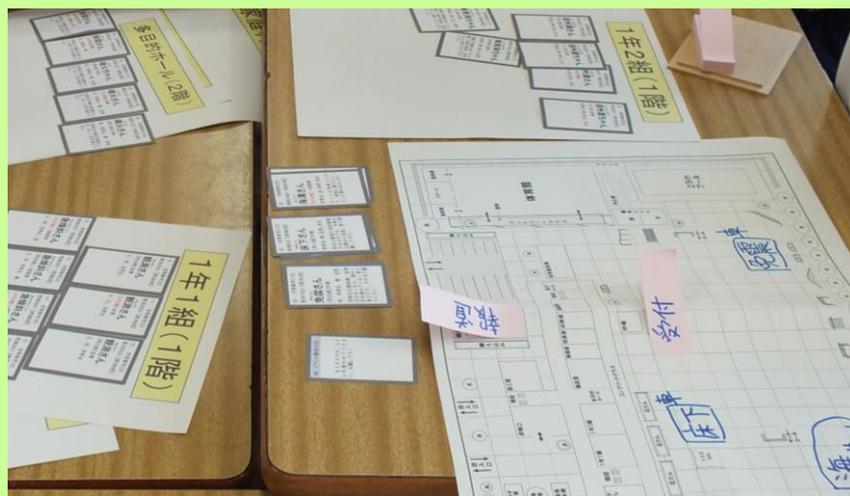
82 世帯番号【21】  
東池452【東池1班】

とっぴ  
突風さん

【男51歳】全壊

父 世帯主 妻

世帯主の父は心臓病あり。  
妻はうつ病。



8月18日 西尾中1年生

実践委員

消防団員

# 避難所運営ゲーム（HUG）

## 《生徒の感想》

- ・グループでたくさん意見が出て、**考えがすごく深まった**
- ・**運営の方の気持ち**が分かったので、手伝えるようにしたい
- ・**支え合える雰囲気**を大切に、**頼ることも意識**したい
- ・それぞれ人は**事情がある**ので、苦しい思いや悲しい思いをさせないようにしたい。

様々な立場の人の思い

受け入れる側の考え

【モデル地域での取組⑤】

# 風水害マイ・タイムライン講座

愛知県建設局河川課職員

- ◎ 正しい理解と避難方法
- ◎ いつ・だれが・何をするのか

6月 2日 西尾小6年生・実践委員

9月19日 西尾中1年生

9月22日 花ノ木小4年生・保護者

## ≪児童生徒の感想≫

・ 災害時、どうすれば  
よいか**はっきりした**  
ので、安心した

・ **やらなければならないことが**  
思いのほか多い

# 風水害マイ・タイムライン講座

愛知県建設局河川課職員

## ≪児童生徒の感想≫

・ **自分の家にどんな被害があるのか**を知ることができた

・ 自然災害のことを  
**家族と話し合う**  
**きっかけ**をくれた

風水害への  
正しい知識

家族で共有する  
ことの大切さ

【モデル地域での取組⑥】

# 災害クッキング講座

名古屋文化短期大学  
山田実加 教授

- ★ 「防災を楽しむこと」
- ★ 学びを「知ってる⇒出来る」へ
- ★ パック・クッキング法 等



- ★ 栄養満点リゾット
- ★ 和風の蒸しケーキ
- ★ サバの味噌煮とワカメ和え
- ★ 誰でもできる簡単ポテサラ

10月31日 花ノ木小4年生

実践委員 **保護者**

11月11日 西尾小6年生

# 災害クッキング講座

名古屋文化短期大学  
山田実加 教授

## ≪児童生徒の感想≫

・もらったレシピを見て  
また家で作ろうと思った

・ローリングストックの内容を  
伝えて実際に行おうと思った

・災害時は水道、  
電気、ガスなども  
使えなくなるから、  
備蓄の意識がもてた

・家族だけでなく、  
他の学年の友達や  
地域の人たちにも  
教えてあげたい

防災を日常に  
取り入れる

防災を楽しみ  
広めたい

## 小中合同通学団会

- ★同じ地域で生活する者同士で協力
- ★防災知識を小学生に伝える
- ★合同下校で危険場所の確認 等

発信することで  
地域防災力向上

防災リーダー  
としての自覚

9月22日 西尾小  
花ノ木小  
室場小  
三和小  
福地北部小

## 地域への発信

学習のまとめ

防災チラシ

防災マップ

学習発表会

リーフレット

自主防災会

家庭

学校

関係機関

などへ

# 事前・事後アンケートより

Q. あなたの住む地域における、  
地震や津波、洪水などの災害の  
被害想定を知っていますか？

	事業前	事業後
知っている		
ある程度 知っている	62%	83%

**21%UP**

# 事前・事後アンケートより

Q. あなたの住む地域における、地震や津波、洪水などの災害の避難場所等を知っていますか？

	事業前	事業後
知っている		
ある程度知っている	86%	91%

5%UP

# 事前・事後アンケートより

Q. あなたは家族と、地震などの自然災害について話し合うことがありますか？

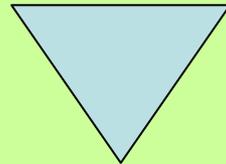
	事業前	事業後
ある	33%	31%
たまにある		

**2%Down**

# 事前・事後アンケートより

Q 災害時、あなたができることはありますか？

	事業前	事業後
あ る	62%	



逃げる  
隠れる  
シェイクアウトする

# 事前・事後アンケートより

Q 災害時、あなたができることはありますか？

	事業前	事業後
あ る	62%	79%

17%UP

スリッパを作る    テントの組立て  
食事を作る    避難所運営の手伝い  
担架で運ぶ    けが人の手当て

# 事前・事後アンケートより

Q 災害時、あなたができることはありますか？

	事業前	事業後
あ る	62%	79%

17%UP

困っている人のサポート 声かけ  
地域の人と協力 物資の運搬  
幼児の世話 高齢者の話し相手 など

# 事後アンケートより

防災リーダーとして  
地域のために  
自分ができるところを

# 本事業の成果

様々な活動を通して「守られる側から守る側へ」という意識を高め、児童生徒が災害時においても「自分のできることをやっていきたい」という思いをもつことができた。



## 防災リーダーとして積極的に活動できる姿

児童生徒が地域の方と一緒に活動をしたり、児童生徒の学びを外部に発信したりすることで、モデル地域全体の防災意識を向上させることができた。

## 防災意識の向上と、学校・地域の連携強化

本事業が終了した後もモデル地域内の学校が防災教育を継続実践することができた。

## 本事業終了後も継続して実施

# R7 市内の小中学校における実践例

## 一色地区(H30モデル地区)

★一色中1年生 浸水区域外への避難訓練

★一色南部小4年生 災害クッキング講座

## 吉良地区(R1モデル地区)

★吉良中1年生 防災フェス

★津平小 親子防災教室

## 寺津地区(R2モデル地区)

★寺津小6年生 防災講話

★寺津中1年生 防災フェスタ

# 西尾市内の小中学校における防災学習

## 東部地区(R3モデル地区)

★東部中 3年生 防災講話

★室場小 4年生 排水機場見学

## 福地地区(R4モデル地区)

★福地中 1年生 防災講座

★福地北部小 4年生 起震車体験

## 幡豆地区(R5モデル地区)

★幡豆中 1年生 HUG学習

★幡豆中職員 現職教育

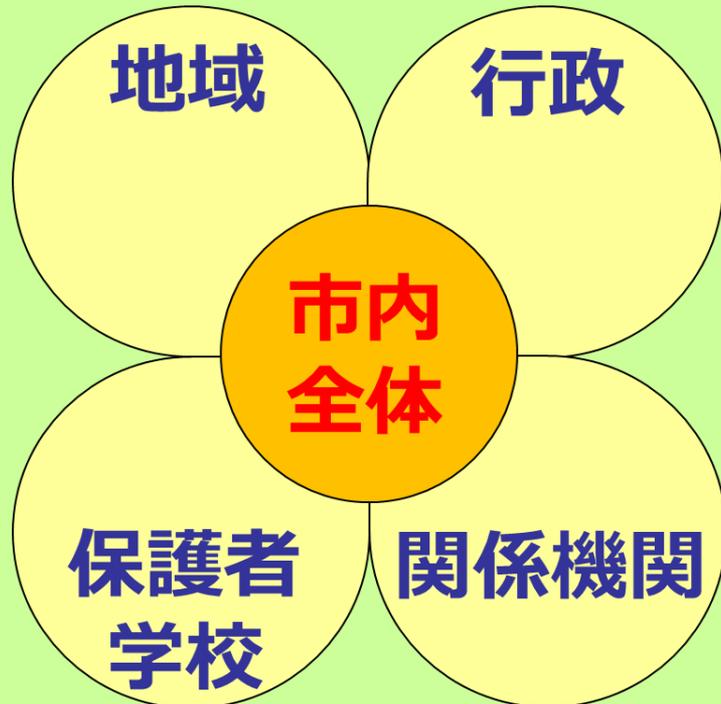
# 西尾市内の小中学校における防災学習

## 平坂地区(R6モデル地区)

★平坂小 コスモスまつり

★平坂小4年生 災害クッキング講座

## 室場っ子防災フェス



継続は  
力なり

# 今後の課題



## 地域防災力の向上

学校・地域の実情や、子どもたちの実態をとらえた上で、より効果的な活動を検討していく必要がある。また、家庭・地域をこれまで以上に巻き込めるような活動を取り入れ、地域全体の防災意識・防災力の向上を図る必要がある。

## 教職員の研修

教職員が災害に対する正しい知識を得て、素早く適切に対応できるとともに、児童生徒に効果的な指導を行うためのスキル向上が必要である。

今後も、学校安全に係る取組をさらに推進していきます！

ご清聴ありがとうございました

「西尾の抹茶」の耳



ほうさいくん



あんぜん



ちゅうい



きけん

